

リニア模型の寄贈と道の駅「リニアの見える丘公園」幹事会

「リニア中央新幹線」計画についてシリーズでお伝えしています。

今月は、中津川ロータリークラブによるリニア模型の寄贈と、道の駅「リニアの見える丘公園」幹事会についてご紹介します。

問 リニア対策課（☎内線214）

リニア模型の寄贈

中津川ロータリークラブでは、青少年育成事業の一環として、リニア模型を作製し、リニアのまち中津川のPRのため、2月17日に中津川商工会議所、中津川工業高校、坂本小学校、中津川市役所、子ども科学館の5カ所に事業の経過を記したパネルと共に寄贈されました。

リニア模型の車両は、ロータリークラブが3Dプリンターを使用して製作し、レールについては、ロータリークラブから製作依頼を受けた中津川工業高校電気科の生徒たちで製作に取り組み、レールに推進用のコイルや基盤を取り付け、電気を流すことで模型が走行するつくりとなっています。



市役所本庁舎に展示しているリニアの模型とパネル（中央）

寄贈式には、ロータリークラブ会長を始め、寄贈先の代表および本事業に協賛された公益財団法人十六地域振興財団と後援の中津川商工会議所およびリニア中央新幹線まちづくり推進中津川市民の会の代表が出席して模型の贈呈が行われました。

また、贈呈式の中で、本事業に協力・協賛された4団体に対しロータリークラブ会長から感謝状が贈られ、工業高校の先生・生徒によるデモ走行も行われました。（なお、寄贈先で展示されている模型は、走行できませんのでご了承ください。）

道の駅「リニアの見える丘公園」整備促進協議会幹事会

2月5日、第1回道の駅「リニアの見える丘公園」（仮称）整備促進協議会幹事会（以下、幹事会）が開催されました。

この幹事会は、協議会の下部組織として、各関係団体の実務者15人によって組織され、リニアが見える丘拠点整備候補エリアの絞り込みなど具体的な調査検討を行うことを目的としています。

第1回幹事会では、幹事長に中津川木材青壮年会の倉野仁氏（ひとし）が選出されたほか、事務局より、拠点整備候補エリアの4カ所（①苗木城周辺エリア、②車両基地周辺エリア、③リニア岐阜県駅周辺エリア、④山口地区エリア）についての説明のあと、意見交換が行われました。

主な意見として、「鉄道博物館の建設を検討したらどうか。」や「リニアが見えるほかに、魅力的な観光素材の提供が必要。」「地域の特産物などの紹介・販売による市街地観光への拡大を図る施設にしたらどうか。」「拠点整備候補エリアから見える風景も選定の重要な視点。」などの意見がありました。



幹事会の様子

そして、3月3日に第2回幹事会が開催され、第1回幹事会での意見・ご提案の整理、拠点整備候補エリアの絞り込み、今後の検討項目の確認などが行われました。

今後は、2回の幹事会で調査検討されたことを協議会に報告し、候補地エリアのコンセプト・整備手法の検討や必要性、機能、施設概要など、協議会から付託を受けた事項について検討していくことを確認しました。